

◆概要

- **目的**
 - ・ 各種相談窓口の新任職員に対し、多重債務問題に係る基礎的な知識や、関係施策の動向等について、周知を図る。
 - ・ 窓口業務の経験者に対し、具体的な相談事例を基に解決策を探る事例検討を通じて、対応力の向上を図る。
- **開催日時**
 - ・ 新任職員向け(オンライン形式) 【第1回】令和5年6月26日(月) 【第2回】令和5年12月4日(月)
 - ・ 経験者向け(集合形式) 【第1回】令和5年6月30日(金) 【第2回】令和6年2月2日(金)
- **参加者**

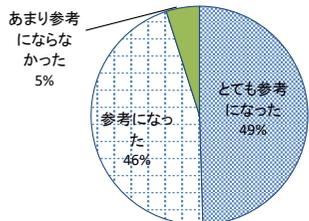
所属	東京都 (主税、福祉、教育、生文等)	区市町村 (税務、消費生活、困窮等)	社会福祉協議会	その他	計
新任向け(1回)	13	80	36	3	132
新任向け(2回)	14	37	12	6	69
経験者向け(1回)	6	42	10	0	58
経験者向け(2回)	10	29	8	3	50
合計	43	188	66	12	309

○ 研修内容

- 【新任職員向け】
 - 「最近の多重債務問題とその解決方法」(第1回、第2回:宮村法律事務所 宮村 純子 弁護士)
 - 「東京都における多重債務問題の対応」(地域福祉課、消費生活総合センター、メンタルケア協議会 相談員)
- 【経験者向け】
 - 「最近の多重債務問題の状況」(第1回、第2回:ひぐらし法律事務所 山川 幸生 弁護士)
 - 「法テラスの事業紹介」(日本司法支援センター東京地方事務所)
 - 「多重債務相談への対応について」(生活サポート基金 相談員)

◆アンケート結果(新任職員向け第1・2回)(回答:103名・回答率51%)

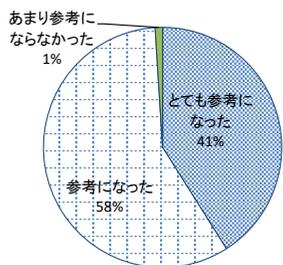
1 最近の多重債務問題とその解決方法



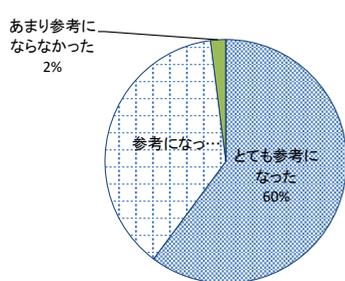
【意見・感想】

・基本的な債務整理の知識や、ヤミ金などの債務の原因について、事例も含めてわかりやすく説明いただき、参考になりました。
 ・救済策を方法別に説明してくださり、かつ事例もそれぞれあり、分かりやすかった。
 ・多重債務問題は低所得層の問題で、浪費、ギャンブルが主要因というイメージを無意識的に持っていたが、高所得層も含め、誰でもあり得る問題で、問題の捉え方、問題に悩む人達への見方が少し変わったように思った。

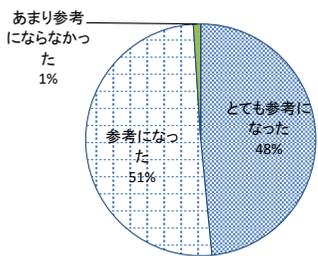
2-1 多重債務者生活再生事業の概要



2-3 東京都の自殺総合対策について



2-2 東京都消費生活総合センターにおける多重債務に関する取り組み

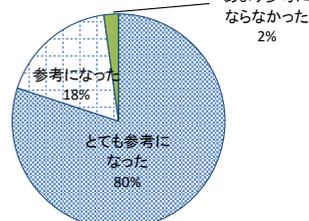


【意見・感想】

・都の多重債務者生活再生事業が、「相談」を大切にしていることや、生活困窮者自立支援法との関係性について理解することができた。
 ・多重債務者について、借金だけでなく、その要因となる様々な複合的な問題にもしっかりと目を向け、支援に繋げていく必要があるということを、改めて考えさせられた。
 ・自殺の悩みに関する相談先がLINEや電話と複数選択肢があることが良いと感じた。直接人に話すことが難しい事情があることを考えると、特に若い人にとってなじみ深い文字でのやり取りが有効だと感じた。専門職だけが携わるのではなく、地域との連携がやはり必要だということが分かった。

◆アンケート結果(経験者向け第1・2回)(回答:90名・回答率83%)

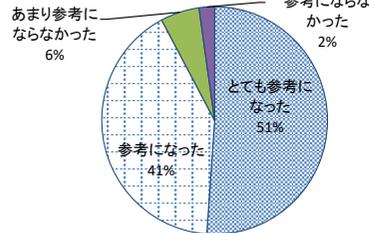
1 最近の多重債務問題の状況



【意見・感想】

・任意整理の意味や自己破産の用語を正確に理解できました。事例の生活苦、家賃滞納、ギャンブル、投資詐欺の事例は相談で頻りに出会うものなので役立ちます。
 ・最近の多重債務相談の状況を原因別に捉えることにより、取り組み方が明確になった。最低限理解しておくべき法律の知識を得ることができた。

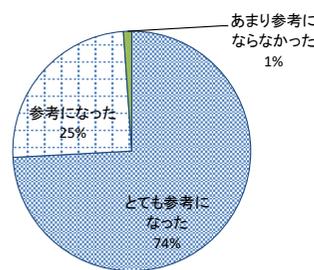
2 法テラスの事業紹介



【意見・感想】

・出張相談も可能であること、支援者のホットラインがあること等、また、収入・資産要件についても大変参考になりました。
 ・法テラスを相談者に紹介していましたが、「相談の流れ」が改めて良く分かりました。また、「債務整理にかかる費用」を認識しました。

3 多重債務相談への対応について



【意見・感想】

・実際に計算式に当てはめて考えることで、より理解が深まった。金銭的課題のある家庭は、その他複合的な課題を抱えており、金銭的課題の突破が大事なきっかけとなることが多いため、具体的に家計について話を掘り下げる必要性を感じた。
 ・現在、家計プランを立てているケースが多いので、任意整理、個人再生、自己破産の計算方法が理解出来て良かった。
 ・詳細な家計診断から、世帯の生活が浮き彫りになってくのがワークで体験できた。